

Press Release

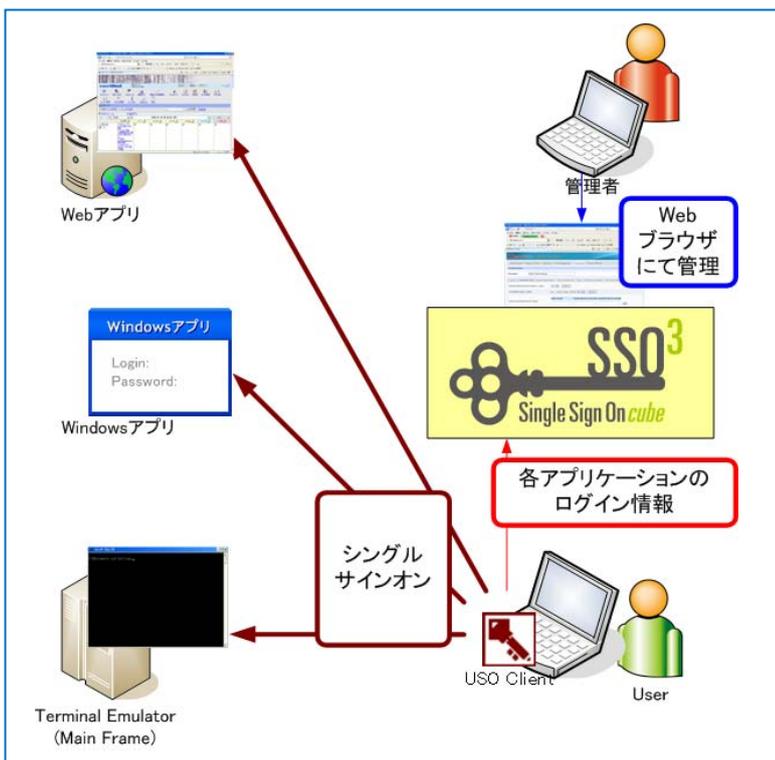
ネットスプリング社、シングルサインオンアプライアンスの新製品「SSOcube」を発表

国内初のSSOアプライアンス製品／信頼性の高いソフトウェアを実装 中堅企業・中小組織単位ネットワークへのSSO機能導入を容易に

株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進、以下ネットスプリング）は11月25日、新開発のシングルサインオンアプライアンス製品「SSOcube」（エスエスオー・キューブ）を発表しました。価格は220万円（100ユーザ仕様のSSOC01-10の場合、税別）から、出荷開始は2010年2月を予定しています。販売は、SI事業者などのパートナー企業を通じて行い、中堅企業や大企業・金融機関の部門ユーザ・関連会社・子会社、公共団体や大学事務局等の部局をメインターゲットに展開する予定です。初年度の販売目標は100台。

これまでさまざまなシングルサインオン（以降：SSO）の機能を持った製品が市場に出荷されていますが、そのほとんどは、ソフトウェア商品として販売されています。これらソフトウェア製品をベースとする場合、現場に導入するに当たっては、SSOの機能の選択のみならず、性能を評価しながらのハードウェア選定から始まり、導入設定、カスタマイズ・チューニングに至るまでシステムエンジニア（SE）の力が大いに必要であり、社内SEのリソースを持たない企業にはかなりの外注コストを要します。

今回発表する新製品SSOcubeは、国内初のアプライアンス形態の製品であり、予めハードウェア（認証サーバ）にソフトウェア機能や運用管理に必要な機能をオールインワンで実装しているソリューション製品として提供されます。このアプライアンス製品化によって、従来導入が困難だった、外部のSE技術者の支援が必要な中堅企業や大企業の部門ユーザおよび関連会社・子会社・工場や拠点等への導入が容易になります。企業におけるセキュリティの重要性がますます高まり、グローバル化への対応、コンプライアンス遵守が求められる中、本製品は、SSO機能の短期間での導入と、早期展開を実現する製品です。



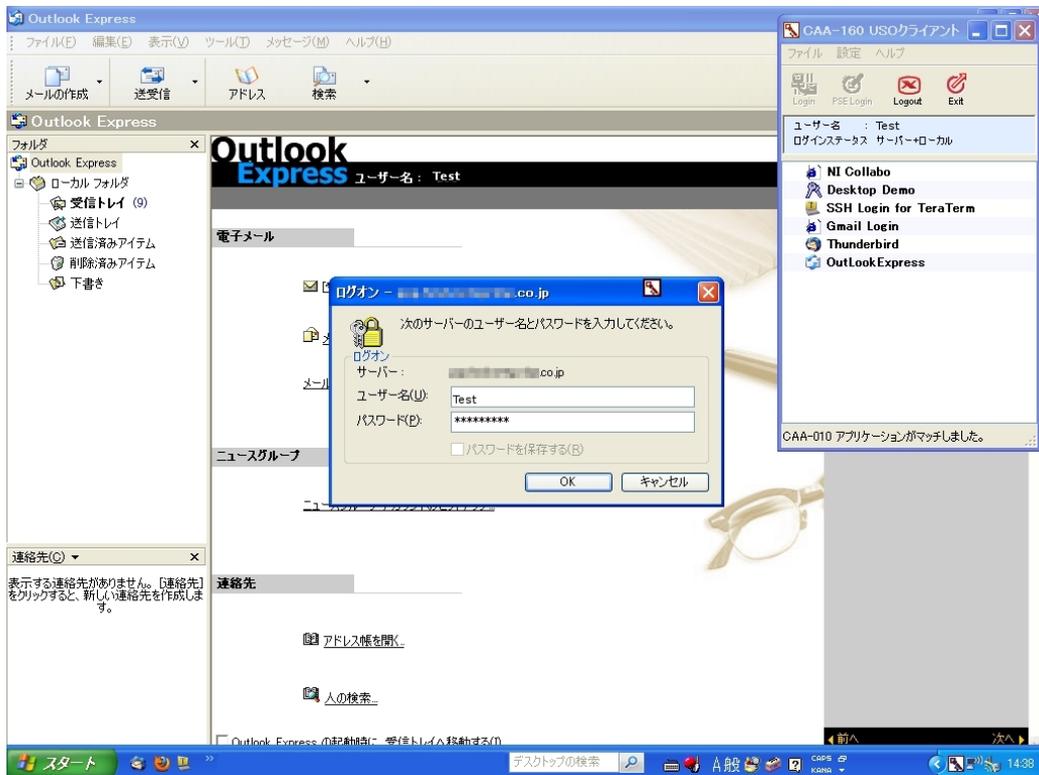
SSOcubeの利用イメージ



「SSOcube」ハードウェア

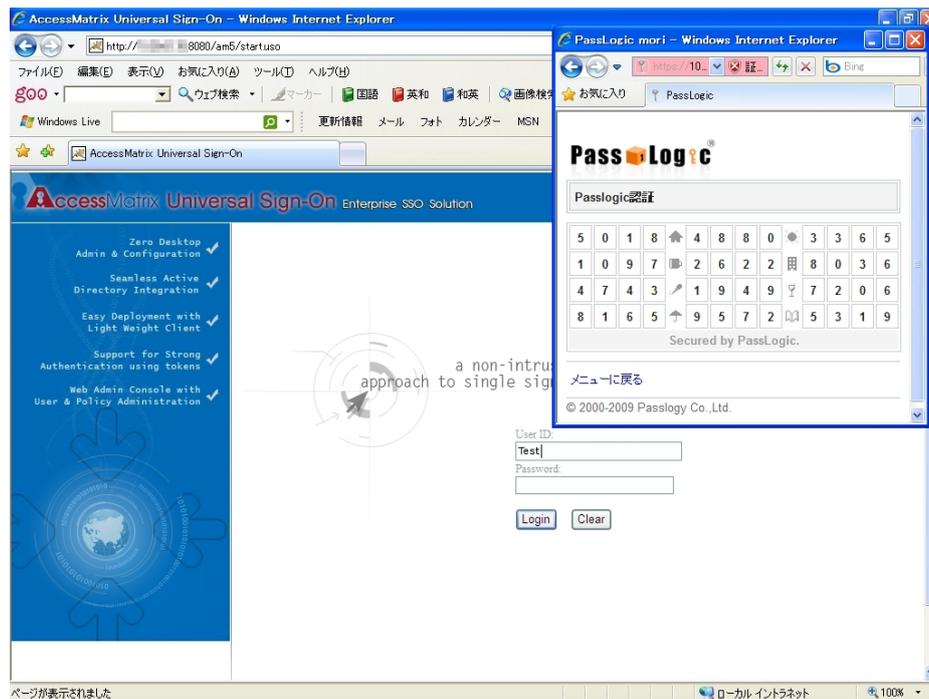
■ SSO 機能（汎用 SSO：代理入力方式）

SSOcube では、Web アプリケーションに限らずさまざまなアプリケーション、例えば、Windows® クライアント上で稼働する汎用機端末エミュレータにおいても SSO 機能が利用できるように実装されています。多くの SSO ソフトウェア製品は、Web アプリケーションに対してアプリケーションインタフェース (API) を提供する形態が多く、カスタマイズの自由度は大ですが、結果的にソフトウェア開発が必要なケースが多く、エンタープライズ企業以外では導入の大きな障壁になっています。SSOcube で実装されている SSO 機能は、代理入力方式というシミュレーション形式による実装であり、ユーザアプリケーションの改変はほとんど必要ありません。SSOcube と通信する PC クライアント上のエージェントが、さまざまな PC 画面を識別の上、ユーザ ID やパスワード等を代理入力します。これにより、アプリケーションへの対応度が飛躍的に上がり、適用範囲が大きく広がります。Web アプリケーションに限らず、ロータスノート®、Acrobat Connect®や ERP 等の Windows®上のさまざまなアプリケーション、さらに IBM 製・富士通製などの汎用機端末エミュレータにも利用可能です。対象アプリケーションの PC 画面や動作を事前に学習（トレーニング）させることにより、多くのアプリケーションに適用することが可能です。また、その設定ファイルや設定情報も多くのアプリケーション向けに専用サイトにて提供予定です。ユーザは必要に応じて簡単にカスタマイズが可能です。



■ SSO セキュリティ強化（ソフトウェア・ワンタイムパスワード：マトリクス型認証方式搭載）

SSOcube では、SSO 製品において一般的にいわれているパスワード漏洩時にその被害が拡大するという課題に対してセキュリティ強度を高める機能を実装しています。一般的なパスワード入力の代わりに、予め登録されているパターンにしたがって画面に表示された数字（チャレンジ）のマトリクスから数字列を入力するワンタイムパスワード方式（OTP）です。この方式の場合、認証の都度、表示される数字が変わり、パターンによる入力との二つの要素が正しいものでなければ認証されないという方式になります。固定パスワード方式でなく、ダイナミックなチャレンジ数字（乱数）のみが出現します。これにより、SSO 利用に伴うパスワード漏洩による危険度が極小化されます。本機能は、ソフトウェアに標準装備されているので、追加投資無しで SSOcube 単体で SSO 機能と共に利用可能です。また、このチャレンジ数字列は、携帯電話から入手することも可能であり、追加投資無しで SSO 機能のさらなるセキュリティの堅牢化が図れます。



■ SSO 機能のオールインワンパッケージ (SSO ハブ)

SSOcube は、SSO 機能、マトリクス型認証機能、ユーザアカウント管理およびシステム管理機能が実装されており、直ちに導入運用可能な一つのソリューションパッケージとして提供されるため、本製品のみによるスタンドアロンの SSO ボックスとして導入が可能です。セキュリティの脆弱性を最大限排除するべく、本製品では国内に留まらず世界において実証あるいは特許を取得しているソフトウェア群が、当社の認証サーバの技術を組み合わせたソリューション製品として実装されています。

- ◆SSO 機能：「AccessMatrix」製品群 (i-Sprint 社 (シンガポール本社) 製)
- ◆マトリクス型認証機能：「PassLogic」製品 (パスロジ社 (東京本社) 製) :
- ◆認証サーバ：「AXIOLE」(当社ネットスプリング製) サブセット版

上記 3 製品をインテグレーションすることにより、今後さまざまな SSO 関連機能の実装を進め、IC カードやスマートカード、携帯電話等、あるいは、バイオメトリクスを含めた SSO のハブ機能を SSOcube として提供していきます。

同時に当社の既存製品である認証サーバアプライアンスの AXIOLE (アクシオレ) を外部認証サーバとして、同じく認証ゲートウェイ製品の「FEREC」(フェレック) に対しても SSO 機能が利用可能になります。

本製品の展開においては、AccessMatrix 製品のテクニカルサポートとして実績のあるアイディネットワークス社 (本社：東京、<http://www.idnetworks.co.jp/>) の協力を得て、SSOcube を利用したエンタープライズ・中規模システムから SI によるエンタープライズ規模の大規模なシステムまでの技術サポートを提供していきます。

■SSOcube のその他の特長

●導入・運用管理が容易

SSO サーバに必要なソフトウェア機能をあらかじめ構築しているため、SSO 機能の選定や評価等の高度な知見と期間が必要な導入準備を省き、最小限の設定のみで運用を開始できます。すべての設定・管理は Web ブラウザから行うことができ、OS や特別なソフトウェアを別途インストールする必要がありません。SSO に必要なユーザ ID やパスワードの一括入力や変更等も Web ブラウザから行

うことが可能です。ID 管理機能と SSO 機能、マトリクス型認証機能が予め組み込まれており、ユーザーデータや設定情報その他必要なバックアップ処理も含め、オールインワンで提供されます。

●2FA(二要素認証)としても利用可能

SSOcube が実装するマトリクス型認証方式は、パスワード認証の代わりに利用することが可能ですが、別途、パスワード認証に加えた形での認証方式も利用可能です。また、ユーザーアカウント毎にマトリクス型認証の使用・不使用を設定可能です。また、その他バイオメトリクス認証やスマートカード認証等にも順次対応していく予定です。

●ユーザー情報の外部参照可能

SSOcube 内部のユーザーアカウント情報を利用するスタンドアロン形態での認証とともに、外部の LDAP (当社 AXIOLE やマイクロソフト社 Active Directory®も含めて) 認証サーバのアカウント情報を参照することも可能です。

●アプリケーション権限設定が可能

ユーザー毎、グループ毎に予め設定されたアプリケーションの利用権限を、それぞれに設定することが可能です。

●監査情報の収集

SSOcube 内部で、どのユーザーがどのアプリケーションを利用したか等の各種監査ログ情報を収集できるため、アプリケーション利用の管理制御を可能とし、SSO による利便性と同時に、IT 統制への備えを実現します。

●中堅企業・部門ユーザー向けに 100~1000 アカウントモデルを用意

SSOcube は、中堅企業や部門ユーザー向けに 100 アカウント対応から 1000 アカウント対応まで、5 つのモデルをラインアップしています。

SSOcube の詳細： <http://www.ssocube.com/>

■i-Sprint Innovations 社、アルバート・チェン CEO のエンドースメント

「ネットスプリング社の SSOcube アプライアンスの立ち上げについて伺い、これは私の大きな喜びです。また、ネットスプリング社が SSOcube アプライアンスをセキュアにするために、当社の AccessMatrix USO とセキュリティ技術を選択していただいたことは、我々にとって荣誉であります。SSOcube の開発は、ネットスプリング社と i-Sprint のグローバル・コラボレーションによる親密なパートナーシップにより行われ、最善なアプライアンス・セキュリティ・ソリューションを日本市場にもたらすことになると思います。SSOcube アプライアンスの発売により、私たちの実績のあるセキュリティ・ソリューションが中小の企業や大企業の部門の方々にも手の届くものとなり、大企業と同じセキュリティ技術を低廉な TCO (導入、維持・管理コストの総計) で利用できることとなります。私たちは、この日本で作られたセキュリティ・アプライアンスが日本市場でビッグヒットすると確信しております。」

(原文) i-Sprint Innovations Pte Ltd, Albert Ching CEO endorsement.

“It is my great pleasure to hear about the launch of the SSOcube Appliance by NetSpring. It is also our honor for NetSpring to select our AccessMatrix USO and security technology to secure their SSOcube Appliance. The SSOcube development is a global collaboration and close partnership between NetSpring and i-Sprint in an effort to bring the best of breed security appliance solution to the Japan market. With the launch of the SSOcube Appliance, we can now introduce our proven Enterprise Class SSO solution to reach out to small and medium enterprises so that they can also enjoy the same security technology at a much lower total cost of ownership (TCO). We are confident that this locally produced security appliance will be a big hit for the local market.”

■パスロジ株式会社、酒井寛庸 取締役 CTO のエンドースメント

パスロジはネットスプリング社の SSOcube の提供開始を心より歓迎します。オペレーションの細分

化が進む中、企業では、グループウェア、ウェブメール、CRM など増え続けるアプリケーションの管理・運用に日々頭を悩ませていることと思います。そのソリューションとして、AccessMatrix USO のエンタープライズ・シングルサインオンと PassLogic のトークンレス・ワンタイムパスワードの連携は、セキュリティを確保しつつ業務効率化を実現する最適な組み合わせです。SSOcube では、ネットスプリング社の豊富なノウハウをベースに、認証サーバの設計・構築の定型化を行ったことで、導入コストや運用開始までの時間を大幅に短縮することを可能にしました。また統合されたウェブベースの管理ツールにより運用の負荷も軽減されます。すべての企業が、SSOcube により ICT 投資の効果を実感することができるでしょう。

SSOcubeシリーズ 製品仕様

製品名		SSOcube				
ソフトウェア仕様	モデル名	SSOcube 10	SSOcube 25	SSOcube 50	SSOcube 75	SSOcube 100
	型番	SSOC01-10	SSOC01-25	SSOC01-50	SSOC01-75	SSOC01-100
	最大利用ユーザ数	100	250	500	750	1000
	管理ドメイン数	1				
	シングルサインオン機能	代理入力方式				
	認証方式	(1) パスワード				
		(2) PassLogic方式ワンタイムパスワード(マトリクス型認証)				
		(3) 上記組合せによる2FA				
		アクセスリストも組み合わせ、3FAまで対応				
	クライアントOS	WindowsXP SP3 以上/ Vista SP2 以上/ Windows7(予定)				
	管理者向け機能	WebUIにて管理、設定				
ユーザー向け管理機能	WebUIにて管理、設定					
ログ	管理者向けWebUIからの参照、ダウンロード					
	syslogへの出力					
ハードウェア仕様	ディスク	HDD × 2 (RAID1)				
	LANインターフェース	10Base-T/100Base-TX/1000Base-T 4ポート(1ポートはメンテナンス用)				
	外寸	437(W) × 43(H) × 503(D)mm 突起部分含まず				
	重量	14.1kg				
	電源	AC100~240V 50/60Hz				
	消費電力	150W				
	動作環境	温度: 10~35°C 湿度: 8~90% (結露しないこと)				
その他	冗長構成	なし(コールドスタンバイ予備機¥980,000)				
価格 (各税別)	製品価格	¥2,200,000	¥4,000,000	¥6,500,000	¥8,600,000	¥10,500,000
	保守ライセンス更新費	¥280,000	¥428,000	¥680,000	¥898,000	¥1,098,000

※製品価格には、1年目のライセンス費用、基本保守費用が含まれています。

※2年目以降、保守ライセンス更新費用が必要です。費用にはハードウェアセンドバック保守料とライセンス費用が含まれます。

(注意) 本製品の各仕様その他は、事前の通知無く変更される場合がありますので、予めご了承下さい。

以上



Secured by i-Sprint

■i-Sprint Innovations Pte. Ltd について

i-Sprint Innovations は、資格情報管理と多彩で強力な認証の機能を持ち金融機関グレードのソフトウェア・パッケージを提供することを目的に、金融機関において監査、コンプライアンス、システム基盤の各部門を経験したメンバーにより、2000年にシンガポールに設立されました。現在までシンガポール本社のほかに5ヶ国に現地出張所を持ち、16ヶ国の86の金融機関を中心とするお客様に弊社のサービスをご利用頂いております。

●i-Sprint 社の主な製品

- | | |
|---|-------------------|
| • AccessMatrix™ Universal Sign-On (USO) | エンタープライズ向け SSO 製品 |
| • AccessMatrix™ Universal Authentication Server (UAS) | 多彩な認証ソリューション |
| • AccessMatrix™ Universal Credential Manager (UCM) | 特権パスワード管理 |
| • AccessMatrix™ Universal Access Management(UAM) | エンタープライズ向け SDK |

●i-Sprint Innovations Pte Ltd 会社概要

ジャパンオフィス：東京都千代田区丸の内一丁目1番地3AIGビルB1 (TEL：03-5288-5347)

シンガポール本社：Blk 750C #02-14/15, TechnoPark @ Chai Chee, Chai Chee Road,
Singapore 469 0036

TEL：+65 6 244 3900

代表者：CEO Albert Ching (アルバート・チェン)

設立：2000年3月

資本金：6百万シンガポールドル

社員数：45名

事業内容：シングルサインオン製品や各種認証ソリューションの開発販売

U R L：http://www.i-sprint.com/



Secured by Passlogy

■パスロジ社について

パスロジ社はワンタイムパスワード製品を主要ビジネスとするセキュリティベンダーです。2000年の設立以来、急発展を遂げるネットワーク社会において、強固かつ全ての利用者に負担の少ない認証方式を提供するべくソフトウェアの開発・販売を行ってまいりました。セキュリティポリシーの基準が高い金融機関をはじめとして、官公、文教、一般企業など、ユーザ数の大小を問わずさまざまな業種業態で採用され、現在では40万ユーザを超える方々にご利用いただいております。

●PassLogic の特徴

パスロジが開発した「PassLogic」は、イメージからワンタイムパスワードを作り出す独自技術「パスロジック方式」を基盤とした認証システムです。ブラウザ上に表示される乱数表の中から、各ユーザに設定されている“位置”および“順番”(この部分が認証情報)から数字を抽出してパスワードを生成します。認証サーバから乱数表を取得するたびに表内の数字が変わるため、ワンタイムパスワードが実現します。ワンタイムパスワード方式では、認証毎に必要なパスワードが変わるため、固定パスワード方式に比べて大幅なセキュリティの向上が期待できます。また、「PassLogic」はWebブラウザを搭載した端末であれば使用可能です。従来のように、認証専用のハードやアプリケーションが不要なため、運用・管理・コストなどの負担を大幅に軽減できます。

●パスロジ株式会社 会社概要

本社所在地：東京都千代田区神田司町二丁目7番地福祿ビル4F (TEL：03-5283-2263)
代 表 者：代表取締役社長 小川秀治 (おがわ ひではる)
設 立：2000年2月
資 本 金：1億円
事 業 内 容：ワンタイムパスワード関連製品の開発販売
U R L：<http://www.passlogy.com/>



■ネットスプリングについて

ネットスプリングは広島大学で開発された学内向けのネットワーク認証ソフトウェアを元に LAN アクセス管理アプライアンス「FEREC」を開発・販売してきました。昨今の情報セキュリティ市場の伸張に呼応し、2009年9月時点で、FERECは日本国内の大学セグメントにおいて導入率12%を超えるまでに浸透しています。FEREC導入の進展とともにネットワーク認証(ID管理)のオープン化や統合化の要望が増し、ID管理としてLDAPベースの認証サーバへのニーズが顕在化したため、オールインワンのアプライアンス型認証サーバアプライアンス「AXIOLE」の開発によりこの要望に応え、2006年末以降供給を継続、好評を得ています。

●ネットスプリングの主な製品

- ・FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群)
FEREC 製品専用サイト：<http://www.ferec.jp/>
- ・AXIOLE (LDAP系ネットワーク認証サーバアプライアンス)
AXIOLE 製品専用サイト：<http://www.axiole.jp/>

●株式会社ネットスプリング 会社概要

本社所在地：東京都港区三田三丁目12番16号 山光ビル2F (TEL：03-5440-7337)
代 表 者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すずむ)
設 立：2000年3月
資 本 金：8,075万円
社 員 数：22名
事 業 内 容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
ネットワーク関連の提案・構築・運用・サポート
コンピューターネットワークに関するコンサルティング
U R L：<http://www.netspring.co.jp/>

※SSOcubeおよびSSOcubeロゴは、NetSpring Inc.が商標登録その他申請中です。
※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

本件に関する一般からのお問い合わせ先：

株式会社ネットスプリング
マーケティング部
<http://www.ssocube.com/>
TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp

本件に関する報道関係のお問い合わせ先：

ネットスプリング SSOcube 広報事務局
(株)アルサーブ 担当：河端・川口
TEL:03-5297-8808 E-mail:netspring@alsarpp.co.jp
〒101-0063 東京都千代田区神田多町 2-11-7-402